

主要施策名:(1)自然環境の保全

事務事業本数:8

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
①自然と暮らしを守るふるさとづくり	(1)自然環境の保全		110-1	狂犬病予防事業	環境整備課
			110-2	環境美化推進事業	環境整備課
		(2)河川環境の保全	112-1	河川環境保全啓発事業	環境整備課
			112-2	環境調査監視事業	環境整備課
			110-3	防疫事業	環境整備課
			110-4	横島墓地公苑管理事業	環境整備課
		(1)地下水の保全	111-2	旧焼却場等跡地水環境整備事業	環境整備課
		(2)河川環境の保全	112-4	悪用水路整備事業	土木課

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 狂犬病予防集合注射業務	地区巡回し集合注射を行う。	注射件数	件	2740	2001	2584	2500
② 野犬捕獲業務	檻等を利用し野犬を捕獲する。	苦情処理出動回数	回	110	120	150	150
③ 犬の登録業務	飼犬の登録管理を行う。	新規登録数	件	233	173	210	200

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(注射件数)	2740	2001	2200	2200	2200	2200	2200
投入コスト合計(千円)	5,387	5,284	5,630	5,630	5,955	5,955	5,955	
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	3	3	3	3	3	3	
コスト評価(対前年比)	***	74.45%	(↓)	103.19%	(↑)	94.54%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 登録犬注射率	注射件数/登録件数	%	100	100	100	100
			68.6	56.7	81.0	
2						

* 成果未達成時の理由 目標達成に向けて本人への通知、広報たまたま等で周知を図ったが100%にならなかった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
[21] 妥当性	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
[23] 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	前年度等の注射場所及び注射頭数を把握し、注射時間の見直しを行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	成果達成のため引き続き本人への通知、広報たまたま等での周知を行っていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	狂犬病の発生を防止するためには、継続して予防注射の必要性を啓発していく必要がある。また、野犬や行方不明犬の相談が依然として多数あることから、犬の登録と適正飼養を啓発し、有明保健所と連携・協力して捜索、捕獲等を行う必要がある。	評価責任者 平川伸治
-------------------	--	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 河川清掃業務補助事業	河川清掃活動を行う団体に報償費を交付する。	団体活動回数	回	20	20	20	20
② 環境美化行動・クリーン作戦事業	市民や関係団体に参加を呼びかけ清掃作業を行う。	参加区数	区	99	91	104	100
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(市民)	67577	67242	66850	66319
投入コスト合計(千円)	2,766	2,753	2,755	2,755	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	99.98%	(↓)	99.34%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 清掃活動参加人数	環境美化行動・クリーン作戦への参加人数	人	5654 5981	5500 5702	5500 7274	5500
2 清掃活動ごみ回収量	環境美化行動・クリーン作戦で回収したごみの量	t	9.42 6.93	6.93 6.39	6.39 7.0	5.00

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	クリーン作戦や河川清掃団体の活動は経常的になっており、今後も引き続き環境美化活動を根気よく続けていくことにより長期的な市民の美化意識の向上を図る。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	環境美化行動(クリーン作戦)を開催することで、不適正管理地の発見や地域内の環境美化に対する意識の高揚が図られ、分別やごみの減量化への意識づけにもつながることから事業を継続する必要がある。	評価責任者 平川伸治
-------------------	---	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 河川水援隊事業	市が委嘱する河川水援隊により定期的な川の 水質調査、監視を行う。	調査回数	回	288	288	288	288
② 廃油石けんの普及事業	廃油石けんの原料を関係団体 へ支給する。	凝固剤支給量	本	119	160	81	80
③ EM活性液・ぼかしの普及 事業	EM活性液、ぼかしの原料を関 係団体へ支給する。	培養液支給量	本	57	30	17	20

《コスト評価による年度比較》 [19]

コ ス ト 評 価	対象(市民)	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	投入コスト合計(千円)	67577	67242	66850	66319				
	対象1単位あたりのコスト(千円)	1,727	2,264	2,401	2,589				
	コスト評価(対前年比)	0	0	0	0				
		***	75.91%	(↓)	93.74%	(↓)	92.01%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 河川環境保全啓発活動参加者数	川の生き物調査など河川の保全・浄化啓発 に関係する活動に参加した延べ人数	人	500	500	500	500
			648	647	679	
2						

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥 当 性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている	b		
<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている			
<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる			
<input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である			
<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている			
<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない			
効 率 性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b		
<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある			
<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない			
<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
有 効 性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b		
<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる			
<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい			
<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している			
公 平 性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率[0.00 %]	<input checked="" type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない。) [24]	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 [25]	特になし。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	河川の主な汚濁源が生活排水によるものであることから、河川水援隊員による定期的な監視、廃油石けん団体などの河川の 浄化活動等7つの細事業を通して市民に河川環境保全への意識を高めるためにも、引き続き現状で継続していく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄 ■

[27] 評価責任者(課長)の所見	油漏れ等による河川の水質悪化に備えるとともに、河川水援隊による河川監視や市民団体による浄化 活動を支援することにより、美しく豊かな河川を次世代に引き継ぐ必要がある。また、次世代を担う子 供たちを対象に川の生き物調査を行うことで、地域の自然の豊かさを発見し継承する意識を芽生えさせる ことができる。	評価責任者 平川伸治
-------------------	---	----------------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 河川水質検査業務	河川の水質検査を実施する。	検査回数	回	6	6	6	6
② 工場排水土壌検査業務	特定工場排水の調査、監視を実施する。	検査回数	回	1	1	1	1
③ 緊急水質土壌調査業務	突発的な事故等を要因とする水質土壌調査を行う。	検査回数	回	0	0	0	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算		
	対象(市民)	67577	67242	66850	66319		
	投入コスト合計(千円)	1,056	893	887	1,090		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0		
コスト評価(対前年比)	***	117.70%	(↑)	100.08%	(↑)	80.72%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 工場排水土壌検査異常箇所数	調査を行い異常があった箇所数	所	0	0	0	0
2 河川水質検査で基準を下回る箇所数(熊本県生活環境の保全に関する環境基準-A類型)	左記/全体	%	0	0	0	0
* 成果未達成時の理由			48.0	52.0	45.6	
河川水質検査については、採取箇所の排水路水量が少量の場合もあり、生活雑排水の流入などによりBOD(生物化学的酸素要求量)やSS(浮遊物質量)の値が高いことが考えられる。						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	河川水質検査において水量が少ない排水路があるものの、調査時期の天気等の影響もあり、具体的な採取地点の変更には至っていない。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	河川水質検査においては、水量の少ない排水路があり、採水不可の時に備え採水地点の変更を検討する。また、河川水及び特定工場の排水調査を定期的に調査、監視することにより市民の快適な生活環境の確保と不安解消のためにも現状のまま継続していきたい。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	河川の水質検査や特定工場の排水調査、周辺河川等の水質及び土壌の調査・監視を継続して実施することで、公害の発生防止や早期発見のために必要な事業である。	評価責任者 平川伸治
-------------------	--	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 側溝用消毒剤配布事業	消毒剤を配布し害虫発生を防ぐ。	配布個数	個	180	112	118	110
② 屋内消毒機貸出業務	噴霧器を貸出し害虫発生を防ぐ。	貸出し可能台数	台	6	6	6	6
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(市民)	67577	67242	66850	66319
投入コスト合計(千円)	2,255	2,254	2,247	2,514	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	99.55%	(↓)	99.73%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 側溝用消毒剤配布率	年間に申請された数に対し、配布した数の割合	%	100	100	100	100
2 屋内消毒機(噴霧器)貸出率	年間に市民又は行政区等に申請された数に対し、貸し出した割合	%	100	100	100	100

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	[24]
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(受益者負担はなじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も住民への事業周知を行い害虫等の発生抑制等の公衆衛生向上のため現状のまま継続する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見 [27]	屋内消毒機の貸し出しや、やぶ蚊発生を防止する薬剤を配布することで、公衆衛生の向上が図られている。消防団による地区内家屋の屋内消毒を行っている地区もあることから事業継続の必要がある。	評価責任者 平川伸治
-------------------	--	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 横島墓地公苑管理業務	公苑施設の修繕や除草等を行う。	修繕・除草回数	回	2	2	3	2
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(墓地使用者)	134	134	134	134	134	134	134
投入コスト合計(千円)	979	968	1,055	1,087	1,055	1,087	1,087	
対象1単位あたりのコスト(千円)	7	7	8	8	8	8	8	
コスト評価(対前年比)	***	101.14%	(↑)	91.75%	(↓)	97.06%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 墓地管理苦情件数	寄せられた苦情件数	件	0	0	0	0
2 契約区画率	契約区画数/管理区画数	%	100	100	100	100
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	b
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性 [24]	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性 [24]	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	b
	<input type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も利用者が利用しやすい環境を維持するため使用者が納付する管理使用料により適切な運営を図る。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見 [27]	横島墓地公苑は、年数も経過し毎年の除草に加えて、墓地公苑自体の修繕が必要となってきた。墓地管理使用料を徴収していることから、墓地の保全のため適切な施設管理を継続する必要がある。	評価責任者 平川伸治
-------------------	--	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 旧クリーンセンター汚水処理室運転管理業務	委託業者により汚水処理室の運転管理業務を行う。	機器点検回数	回	52	52	52	52
② 旧焼却場等地下水水質検査業務	旧焼却場跡地で採取した地下水等を検査する。	水質検査等回数	回	33	33	33	33
③ 旧焼却場施設等修繕業務	旧焼却場施設等の修繕を行い適切な維持管理を行う。	施設修繕回数	回	4	4	1	1

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(市民)	67577	67424	66850	66319			
投入コスト合計(千円)	8,311	7,868	8,272	12,892				
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0				
コスト評価(対前年比)	***	105.40%	(↑)	94.30%	(↓)	63.66%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 水質検査異常率	結果異常/検査回数×100	%	0	0	0	0
2			0	0	0	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	廃棄物処理法に基づく定期的な水質検査や汚水の適切な処理を行い周辺環境に旧処理場が排出する汚水等に含まれる有害物質の影響を及ぼさないよう現在休止中の最終処分場が廃止されるまで水環境の監視が必要である。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	焼却場及び最終処分場跡地については、汚水等が周辺に流れ出ていないか監視を続けていかなければならない。最終処分場跡地の汚水処理施設の管理や周辺地下水等の水質検査を継続して行うことにより、焼却場跡地周辺の水環境の保全の必要がある。	評価責任者 平川伸治
-------------------	---	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 悪用水路整備事業	生活用水路の改良を行う。	工事発注箇所数	箇所	10	6	4	5
② 悪用水路整備委託事業	生活用水路の改良を委託で行う。	委託発注件数	件	7	7	4	1
③ 排水路整備に伴う機械借上事業	軽微なものに対し、機械借上料を支給する。	機械借上件数	件	2	1	0	1

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(施工延長)	927	474	449	323			
投入コスト合計(千円)	41,399	51,637	54,217	49,717				
対象1単位あたりのコスト(千円)	45	109	121	154				
コスト評価(対前年比)	***	40.99%	(↓)	90.22%	(↓)	78.45%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 整備延長数	施工延長	m	684	550	535	323
			926.95	474.40	448.7	
2						

* 成果未達成時の理由 整備工法により延長に影響が出たため

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	生活に支障をきたす悪臭等の環境面や緊急性を確認、優先度を決め計画的に事業を行っているため、見直しは特にない。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	悪用水路の円滑な流れと衛生的な住変環境を提供しており、現状のまま継続する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	生活環境の改善のため必要な事業であるため今後も継続して行う。	評価責任者 田代史典
-------------------	--------------------------------	---------------